

【庁議結果_ホームページ版】

区 分	内 容
会 議 名	令和3年度 第9回庁議
日 時	令和3年7月27日（火） 午前9時00分から午前9時40分まで
場 所	庁議室
件 名	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 「きふと、」×高橋光成投手カードの配布について（未来創造部）</p> <p>(2) スーパーシティ申請の現状と今後の進め方について（未来創造部）</p> <p>(3) 熊による人身被害の発生状況及び対策について（農政部）</p> <p>(4) 前橋産フルーツの直売・収穫体験情報（まえふる）のホームページ公開について（農政部）</p> <p>【その他】</p> <p>(1) 台風8号における対応について（総務部）</p> <p>(2) 熱海市で発生した土砂災害における職員の派遣状況について（消防局）</p>
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 「きふと、」×高橋光成投手カードの配布について（未来創造部） 未来創造部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(2) スーパーシティ申請の現状と今後の進め方について（未来創造部） 未来創造部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(3) 熊による人身被害の発生状況及び対策について（農政部） 農政部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(4) 前橋産フルーツの直売・収穫体験情報（まえふる）のホームページ公開について （農政部） 農政部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>【質疑等】</p> <p>(1) 「きふと、」×高橋光成投手カードの配布について（未来創造部） 意見なし</p> <p>(2) スーパーシティ申請の現状と今後の進め方について（未来創造部） 意見なし</p>	

(3) 熊による人身被害の発生状況及び対策について（農政部）

《公営企業管理者》

熊が出没するようになったのは、餌が足りなくなったことや生息区域が少なくなったことが原因か。今後の対応について、県と協力して方向性を決めていくのか。

《農政部長》

県では、熊の生息状況について検討しており、資料の作成を行っている。今後も県と連携を図っていく。気温の変化、赤城の中山間地における餌が少なくなったこと、熊が人に慣れてきたこと等が原因として考えられる。

《市長》

宮城支所長に対応を伺いたい。

《宮城支所長》

2か所人身事故があったため、宮城地区自治会連合会などから駆除の要望を出した。また、地域対策事業の補助事業として、柏倉町又は苗ヶ島町の自治会の活用ができないか検討中である。

《市長》

ほかの支所長と消防局長にも対応を伺いたい。

《粕川支所長》

粕川支所では、先週自治会連合会の会議があり、各自治会長に情報提供を行った。何かあれば早急に連絡をもらうようにして、情報共有を行っている。

《大胡支所長》

各自治会長に話をして、適宜情報の把握と注意喚起を行っている。

《富士見支所長》

防犯パトロールをして注意喚起や周知活動を行っている。熊が、赤城の登山道で登山者を襲ったとの話も聞いているため、赤城方面も候補対象にしたい。

《消防局長》

消防局では、消防団にもお願いし、通学路のパトロールを行っている。

《市長》

話を聞くと、どれも起きた後の対応策である。抑止力としては、何かがあるか。長期的な視点でみると、森林・環境整備を並行して動いていくべきだと思う。このことについて、全体としての方向性を見せてほしい。また、具体的に目撃マップはいつ作成して、それをどのように周知していくのか。緩衝帯は誰がいつ設置するのか。そういった具体的な中身について一歩踏み込むには、地域の4支所と消防団との連携が、もう少しあった方が良いと思う。

《農政部長》

承知した。

《市長》

緊急度の高い事件が起きたため、早急な対応をしていかなければならない。一方で、緊急度は高くないが重要なのが、森林の環境保全だと思う。環境部長いかがか。

《環境部長》

篠藪の伐採といった緩衝帯の設置については、農政部の予算で行うこととなるが、環境部としては、森林整備と安全対策といった側面から緩衝帯の設置に取り組んでいく予定。具体的な設置場所については、農政部と相談しているところだ。

《市長》

緊急度は高くないが重要度の高い課題として捉え、ゆっくりみんなで議論する機会が必要だと考えている。

(4) 前橋産フルーツの直売・収穫体験情報（まえふる）のホームページ公開について （農政部）

意見なし

【その他】

(1) 台風8号における対応について（総務部）

《総務部長》

予報によると、銚子沖から徐々に北北西に進んで、今日の遅くから明日の未明には東北地方に上陸する。群馬県においては、本日昼過ぎから夜の初めにかけて雷を伴った激しい雨が降るところがあるようだ。雨雲が停滞した場合は、警報レベルの大雨となる恐れもあるということで、昨日、関係所属長会議を開催した。昨日と本日、台風8号の接近に伴う市民に対する注意喚起と広報啓発を行っているところだ。本日災害警戒本部を設置して、午後1時に9か所の自主避難所を開設する予定だ。自主避難所開設の周知については、午前11時頃に防災無線で行う予定だ。その後、状況に応じて、本日夕方までには災害警戒本部あるいは自主避難所の継続・閉鎖を判断していく。台風の状況については、刻々と変化するため、職員の方には情報共有を図りながらご協力いただきたい。

(2) 熱海市で発生した土砂災害における消防局の活動について（消防局）

《消防局長》

7月3日に静岡県熱海市で発生した土砂災害における消防局の活動について、報告する。本市の隊員は、群馬県の緊急消防援助隊として出動した。7月18日（日）から24日の（土）までの1週間、一次派遣から三次派遣の合計12隊54名の隊員が現場に出動した。群馬県全体としては、6消防本部57隊225名の隊員が熱海市の現場で行方不明者の搜索活動等を行った。

【質疑等】

(1)台風8号について（総務部）

意見なし

(2)熱海市で発生した土砂災害における消防局の活動について（消防局）

意見なし

【総括等】

《未来創造部長》

本日、任期中最後の庁議となる中島副市長とデジタル政策担当部長から挨拶をお願いしたい。

《中島副市長》

7月末で退任させていただく。庁議メンバーの方には、協力していただきありがとうございました。コロナ禍で大変な状況であるが、この危機を乗り越えていっていただきたい。これまで地震、大雪、大雨、豚熱など色々な災害が起こってきた。先が見えない中、皆さんのおかげで、危機を乗り越えてきた。これからもそういった状況があると思うが、市長を中心に皆さんの協力のもとで、市民の命、暮らしを守っていただきたい。皆様方のご活躍、ご健勝を祈念して今回の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

《デジタル政策担当部長》

この2年間本当に皆様にはお世話になりました。この2年間だけでも、救急搬送高度化、自動運転バスといった5G、RPAの事業やDXなど色々推進してきたと思う。また、コロナ禍の状況でWeb会議やテレワークの導入など大きな変化のときにこの部署にいたことは、非常に貴重な経験だった。8月から異動となるデジタル庁は、9月1日に組織が立ち上がるということで、手探りでやっている状況だ。2年間前橋市で経験したノウハウや知識をもとにデジタル庁でも色々動かしていきたい。2年間本当にありがとうございました。

《市長》

本当にお疲れ様でした。2人の方が、前橋市の組織を離れることをとても残念に思う。私は、スティーブン・コヴィーの「7つの習慣」に出会って感じるものが色々あった。一見、緊急かつ重要なことが1番優先されると思えるが、彼は、緊急ではないが重要なことが実は1番優先すべきことだと述べている。緊急ではないが、重要な仕事をすることで、緊急度の高い慌てる仕事は少なくなる。これまで私たちは、緊急度の高いことに追い立てられて、じっくりと職員同士の友情を築く時間がなかった。このことは、私自身の反省である。そのような状況の中、中島副市長やデジタル政策担当部長は、私に代わって実直な信頼の輪を重ねてくれた。感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上

*今後の庁議開催予定

開催日	開始時刻	場 所
8月10日(火)	午前9時00分	庁議室
8月24日(火)	午前9時00分	庁議室
9月 7日(火)	午後2時00分	庁議室

8月の定例記者会見は、10日(火)午後2時00分から
27日(金)午後2時00分から開催します。